

グループ	担当者	コース	人数	企画名称	企画内容	場所
浅川	若松	60	20	力学の模擬授業	Newtonによる運動方程式の発見によって、それまで無関係であると思われていた天体の運動と、地上の物体の運動が統一的に記述できることがわかった。この模擬授業では、Newton方程式を微分方程式としてとらえる大学の物理の考え方を紹介する。また、そこで学んだことの実用例として、物体の運動の簡単なコンピュータ・シミュレーションを見せる。	H601
木下	渡辺	30	10	光と物理学	光のいろいろな面白い性質について、レーザー光を用いて実験していただきます。	H棟1階CS
質量分析	豊田	60	10	質量分析装置に実際に触れてみよう	研究室で開発している質量分析装置の原理を学び、植物の葉のクロロフィルの測定などを実際に行なってみる。	H307
岸本	阪口	60	10	PETの原理を知ろう	電子の反粒子の陽電子が電子と出会って消滅する現象を医学診断に応用したのが PET (Positron Emission Tomography) です。この PET の原理を簡単な実験によって体験します。	H405
大貫	摂待	60	10	極低温と超伝導	液体ヘリウムを使って、超伝導体の電気抵抗がゼロとなる様子を実験してもらいます。	H001
下田	下田	60	10	放射線を測る	目に見えない放射線を実際に測ってみましょう。日常的に私たちはたくさんの放射線を知らずに浴びています。その自然放射線を検出器で測ってみましょう。また、放射線の性質も調べてみましょう。	H427
素粒子理論	東島	60	20	この世界は何からできているのだろう？ どんな法則が支配しているのだろう？	すべての物質は原子の組み合わせである。すべての原子は原子核と電子からなっている。すべての原子核は陽子と中性子からできている。陽子や中性子はクォークや反クォークから構成される。その世界は我々の想像を遙かに超えた不思議な法則に支配されている。	H711
久野	青木	60	5	宇宙線を観測しよう	素粒子ビームは大型の素粒子加速器でしか作る事ができないと思いませんか。実は太古の昔から、地球上には宇宙から宇宙線という天然の素粒子ビームが降り注いでいます。この「素粒子ビーム」をつかって、現代素粒子物理学実験の基本を体験します。	H009, H011, H013
竹田	河野	30	10	電子顕微鏡で見てみよう	電子を使うと、光では見る事の出来ない極微の世界を見ることが出来ます。走査型電子顕微鏡や透過型電子顕微鏡の実演を楽しんで下さい。	H127
山中	花垣	60	10	身の回りの放射線	私たちの身の回りにも弱い放射線はたくさんあります。それがどのような性質を持っているのか実際に測定してみます。	H513
バンデ	松多	30	20	加速器施設公開	原子や原子核といった小さな世界を研究するバンデグラフ加速器施設と実験装置の公開と、放射線の検出機器のデモ実験を行います。イオンビームの加速原理を体験したり、簡単な放射線測定器を使って、私たちのまわりにもたくさんの放射線が飛びかっている事を実感してみましょう。	バンデグラフ棟
オナー	篠木	30	20	阪大生と話そう!～理学部ってどんなところ?～	大阪大学 理学部の学生がみなさんをお待ちしています。学生生活の様子から大学生が考える「科学」まで、どんなことでも気軽に質問してください。学生自らがオナープログラムで行った自主研究も展示しています。	H棟2Fコミュニケーションスペース